

平成30年度評価調書 目次

(福祉・教育部会)

■ 「施策」評価調書

施策項目	担当課	ページ
地域保健福祉	保健福祉課	1
健康づくり・医療	保健福祉課、町立下川病院	1
高齢者支援	保健福祉課、あけぼの園	2
子育て支援	保健福祉課	3
障がい者支援	保健福祉課、山びこ学園	4
学校教育	教育課	5
生涯学習・スポーツ	教育課	6
芸術文化	教育課	7

■ 「事務事業」評価調書

施策項目	事業名	担当課	ページ
地域保健福祉	福祉・医療環境コーディネート事業	保健福祉課	8
	戦没者追悼式	保健福祉課	8
健康づくり・医療	20歳からの健康地域づくり事業	保健福祉課	9
	がん検診事業	保健福祉課	9
	国民健康保険	保健福祉課	10
	後期高齢者医療制度	保健福祉課	10
	医療機器整備等事業	町立下川病院	11
	町立下川病院事業	町立下川病院	11
高齢者支援	高齢者通院交通費助成事業	保健福祉課	12
	高齢者入湯料・入湯交通費助成事業	保健福祉課	12
	家族同乗移送サービス事業	保健福祉課	13
	介護予防・日常生活支援総合事業	保健福祉課	13
	包括的支援事業	保健福祉課	14
	在宅医療介護連携・認知症対策事業	保健福祉課	14
	地域福祉活性化事業（ふれあい広場）	あけぼの園	15
	食の自立支援事業	あけぼの園	15
	あけぼの園（介護老人福祉施設）	あけぼの園	16
	短期入所生活介護	あけぼの園	16
	通所介護サービス事業	あけぼの園	17
子育て支援	保育事業	保健福祉課	17

施策項目	事業名	担当課	ページ
障がい者支援	山びこ学園運営事業	山びこ学園	18
	「山びこ学園」施設及び設備並びに周辺整備事業	山びこ学園	18
	グループホーム「ういる」運営事業	山びこ学園	19
学校教育	学校施設等管理事業	教育課	19
	学校給食運営事業	教育課	20
生涯学習・スポーツ	青少年育成支援事業	教育課	20
	スポーツ推進事業	教育課	21
芸術文化	文化協会補助金	教育課	21

平成30年度「施策」評価調書

施策	地域保健福祉			
担当課	保健福祉課			

1 施策の目標と指標実績

目標	■すべての町民が住み慣れた地域で健康で安全安心に暮らすことができるまちづくりを推進する。 ■町民一人ひとりが基本的人権を保障され、充実した幸せな生活ができるよう人権の啓発と犯罪のない社会づくりを推進する。 ■福祉・医療サービスの質の向上にむけた人材の確保を図り、利用者や従事者の移住・定住につなげる。 ■高齢者向け快適居住空間の創出により、高齢者の安全安心で豊かな暮らしを実現するとともに、福祉分野における新たな雇用創出、地域経済への好影響、若者の定住促進などの地域課題を解決し、地域の活性化を図る。
指標名	福祉・医療環境コーディネート事業
指標式等	転入者のみ
区分	基準(H26)
目標値	-
実績値	-
	H27
	H28
	H29
	H30
	目標
	単位
	人
	人

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかつた 1. 全く成果が得られなかつた 3	目標を踏まえた対応を行うことができた。特に福祉・医療等人材の確保については厳しい状況の中、町外在住者が移住により町内に転入することは、人口減少対策及び人材確保対策の両面から改善が図られるものと評価する。

3 施策に対する課題

これまで保健福祉課が中心となって実施していた福祉・医療等の人材確保や魅力向上に係る取組を、各施設で継続的かつ機動的に実施することで、就労希望者にとってよりきめ細かい対応が可能となった反面、縦割りの対応が生じている状況が見受けられた。また、人材の確保だけではなく、離職の防止も併せて行う必要がある。

平成30年度「施策」評価調書

施策	健康づくり・医療		
担当課	保健福祉課	町立下川病院	

1 施策の目標と指標実績

目標	■自身による健康管理を推進し、健康寿命の延伸と生活の「質」の維持・向上を目指す。 ■町民の疾病傾向を把握し、町民の疾病予防・健康づくりを支援する。 ■町立下川病院は、地域住民が安心して暮らすことができるための医療機関として継続するとともに、充実した医療を提供し一次医療機関としての役割とあわせて、在宅医療や重症化予防、慢性期の病気治療、長期療養入院といった今後予想される地域性に適合した医療体制の構築を図る。
----	--

指標名	外来患者延べ数						
指標式等	1日平均外来患者数 96人×244日						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	23,647	23,424	23,424	23,424	23,424	23,424	人
実績値	23,647	19,738	19,978	19,281	16,582		人
指標名	入院患者延べ数						
指標式等	1日平均入院患者数 32人×365日						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	11,806	11,680	11,680	11,680	11,680	11,680	人
実績値	11,806	12,238	8,204	8,368	7,431		人

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	・国保や医療機関と連携しながら、健診結果等をきっかけに生活習慣改善を支援し成果が出ている。喫煙やメタボなど改善が難しいものもあり継続した支援が必要。 ・患者数の減少しているが、入院外来とともに収益は増加している。

3 施策に対する課題

- ・健診及びがん検診の未受診者対策
- ・KDB（国保データベースシステム）を活用して健康課題や重症化予防の対象者、未受診者を明確にし、効果的かつ効率的に生活習慣病予防や重症化予防を推進していく必要がある。
- ・入院、外来患者数の低迷が続き、安定した収益が見込めず、収支改善対策が必要であり、今後の人団動態や地域の実情、診療報酬の改定等を考慮し、工夫改善をしていかなければならない。

平成30年度「施策」評価調書

施策	高齢者支援		
担当課	保健福祉課	あけぼの園	

1 施策の目標と指標実績

目標	■高齢者が健やかで、いきいきと自立した生活が続けられるよう支援をするとともに、高齢者の生きがいづくりのため、社会参加促進・健康づくりを推進する。 ■住み慣れた地域で安心して生活ができる、その人に合った介護予防、介護サービスを提供する。 ■包括的なケア体制の構築により、高齢者が活動的で生きがいのある生活づくりを推進する。 ■いつでも相談できる体制や医療や介護、福祉サービスを包括的・継続的に利用できる体制の推進により、不安なく在宅生活ができる体制を推進する。 ■介護サービスの充実を図るため、介護に必要な人材を確保する。	

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	・在宅医療と介護の連携体制の構築を、看取り指針の作成等を通じて推進することが出来た。 ・適正な介護サービスの提供、生活援助、安全、安心な生活の場の提供が出来ている。また、家族交流等の事業目的を概ね果たすことが出来た。

3 施策に対する課題

- ・高齢者が安心して医療を受けることができる環境づくりの一環としての高齢者通院交通費助成事業については、利用目的や利便性から利用実績がないことから、廃止を前提にした検討が必要である。
- ・介護予防や介護の重症化を予防し、住み慣れた地域で安心して生活できるようにしていくためには、生活習慣病の重症化予防や継続した疾病管理、地域での支えあいも含めた体制整備を充実していく必要がある。
- ・適正な介護サービス等を提供するため、介護職員等の人材確保と人材の育成が急務となっている。また、利用者、施設職員は近年高温、高湿度のなかで夏場の環境ですごしており、施設に関わる人たちの熱中症対策や衛生面の改善として、年次的な空調設備の整備が必要であるため、施設の運営状況を考慮しながら適正な施設運営を図る。
- ・ふれあい広場は、地域の福祉イベントとして実施してきたが、近年の施設利用者の重介護度化により、一般来訪者との世代交流及び参加が困難な状況となっているため、運営体制、開催場所、他のイベントとの共催等、総合的に事業の見直しを図る必要性があることから、次年度以降、関係機関等と協議を諮りながら事業の見直し検討を進める。

平成30年度「施策」評価調書

施策	子育て支援
担当課	保健福祉課

1 施策の目標と指標実績

目標	■元気の象徴である子どもたちの元気な声があふれるよう、母子保健及び地域子育て支援センターの充実等、安心して子どもを生み育てることができる環境をつくる。
----	---

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	・日常保育の中で、「森のあそび」、「食育」、「地域、世代間交流」などを実施。その他、一時保育、障がい児保育、子育て支援センターなどの事業を実施した。

3 施策に対する課題

待機児童はいないが、特に3歳未満児の定員を超える入所希望者が今後発生することが想定される。

平成30年度「施策」評価調書

施策	障がい者支援		
担当課	保健福祉課	山びこ学園	

1 施策の目標と指標実績

目標	■障がいを持つすべての町民が、その障がいの種類及び程度にかかわらず、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援するとともに、就労・社会参加の機会を促進する。 ■障害者支援施設「山びこ学園」利用者及びグループホーム「ういる」入所者の社会的自立を目的として、生活支援サービスの充実と状況に応じた生活基盤の整備を進め、安全で安心な施設運営を進める。

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 3 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者制度の適正・円滑な運用が図られた。また、各種助成等により経済的負担を軽減することが出来た。 ・利用者の高齢化及び重度重複障がいへの対応。 ・老朽化した施設及び設備の改修と更新。 ・施設利用者が安全で安心して生活出来る施設運営の推進。

3 施策に対する課題

<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者（児）が抱える生活課題や支援ニーズも多様化・複雑化しており、安定したサービスの提供を行う必要がある。 ・山びこ学園利用者の重度重複障がい及びグループホーム「ういる」入居者を含め高齢化等に伴う身体機能の低下並びに障がいの重度化に伴う職員配置基準の見直し等が課題となっている。また、障害者総合支援法に係る制度改革や報酬単価の見直しなど、障がい者を取り巻く環境は厳しさが増している。 ・山びこ学園利用者の安全で安心な生活環境の確保として、経年劣化に伴う老朽化した施設及び設備等の改修並びに周辺環境の整備について、年次計画に基づき進めていましたが、施設の耐用年数及び将来的な施設の移転（下川町内市街地へ）等を考慮し、現在は大規模改修は行わず、経年劣化による損傷箇所は修繕等により進めている。
--

平成30年度「施策」評価調書

施策	学校教育		
担当課	教育課		

1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> ■教育環境の充実を図るために、学校等施設(共同調理場・教育住宅含む)や教材、備品等の整備に努めるとともに、経済的・地域的負担の軽減を図るために、対象者への支援に努めます。 ■特別支援教育の充実を図るために、関係機関で構成する連携協議会を中心とした取り組みの推進に努めます。 ■学力・体力の向上に向けた取り組みや、森林環境教育などの特色ある教育環境づくりに努めるとともに、教職員のＩＣＴ活用指導力や資質の向上に努めます。 ■健康づくりと児童生徒の安全対策の推進に努めます。 ■下川商業高等学校の生徒確保を図るために、入学支援や卒業までの支援を行い、魅力ある学校づくりの推進に努めます。 						
	指標名 教育機会均等の確保						
	指標式等 就学率=就学者数÷就学対象者数						
	区分 基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	100	100	100	100	100	100	%
実績値	100	100	96.4	100	100		%
指標名 下川商業高等学校の存続							
指標式等 入学者数							
区分 基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位	
目標値	21	25	25	25	25	25	人
実績値	21	21	26	42	14		人

2 施策の評価

評価項目	評価結果			評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった 3			教育環境や施設設備の充実や森林環境教育等の特色ある教育を実施することができた。 下川商業高等学校の入学者数は一定程度確保することができた。

3 施策に対する課題

<ul style="list-style-type: none"> ■小・中学校は建設されてから年数も経っているため、多くの修繕が必要になっている。 ■特別支援学級の児童生徒が増加傾向にある中、支援員の確保に苦慮している。 ■新学習指導要領への対応、学力・体力の向上、森林環境教育などの特色のある教育環境づくりに努める必要がある。 ■近隣市町村の児童・生徒数が減少していることから、下川商業高等学校入学者確保に向けた支援を進める必要がある。

平成30年度「施策」評価調書

施策	生涯学習・スポーツ				
担当課	教育課				

1 施策の目標と指標実績

目標	<p>■ 幼児期、青少年、成人、高齢者等生涯学習各期における学習機会の充実と自ら学び、自ら高める学習活動を推進します。</p> <p>■ 公民館等社会教育施設の機能充実のための施設整備を進めます。</p> <p>■ スポーツを通した健康づくりと、競技力の向上によるトップアスリートの発掘育成をするとともに、スポーツ環境を整備します。</p>						
指標名	学習の機会創出						
指標式等	各種講座、教室、学級等年間参加者数						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	1,931	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	人
実績値	1,931	2,716	2,523	2,022	1,722		人
指標名	自主的な学習活動支援						
指標式等	自主的学習活動等参加者数						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	72	100	100	100	100	100	人
実績値	72	123	191	153	128		人
指標名	健康スポーツの振興						
指標式等	スポーツ教室等参加人数						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	226	400	500	500	500	500	人
実績値	226	275	292	325	313		人
指標名	競技スポーツの振興						
指標式等	スポーツ競技大会の参加者数(団体主催含む)						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	906	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	人
実績値	906	960	870	805	909		人

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	<p>4. 期待以上の成果が得られた</p> <p>3. 一応の成果が得られた</p> <p>2. あまり成果が得られなかった</p> <p>1. 全く成果が得られなかった</p>	<p>生涯各期における学習機会の提供することができた。</p> <p>スポーツを通した健康づくり、競技力の向上、スポーツ環境の整備を実施することができた。</p>

3 施策に対する課題

■ 多様化・高度化する成人期の学習機会として、自主学習支援のマイプラン・マイスタディー事業の活用が必要になっている。
■ スポーツを通した健康づくり、競技力の向上、スポーツ環境の整備に努める必要がある。
■ 公民館等社会教育施設の老朽化に伴い、修繕等が増えている。
■ スポーツ少年団の指導者が不足していることから、指導者の育成や確保に努める必要がある。

平成30年度「施策」評価調書

施策	芸術文化		
担当課	教育課		

1 施策の目標と指標実績

目標	<ul style="list-style-type: none"> ■自主的文化活動の支援と、生きがいに繋がる文化活動を推進します。 ■様々なジャンルの質の高い、芸術文化の鑑賞の機会を提供します。 ■貴重な有形・無形文化財を保護活用するとともに、文化財資料及び展示保存施設の整理・整備を進めます。 						
指標名	文化活動						
指標式等	町民の文化活動に参加した人数(文化祭の発表者を含む)						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	2,020	2,100	2,100	2,200	2,200	2,200	人
実績値	2,020	2,730	2,284	2,272	2,010		人
指標名	芸術文化鑑賞						
指標式等	芸術文化の鑑賞者数						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	688	700	700	700	800	800	人
実績値	688	821	801	832	1,042		人
指標名	文化財関係施設の活用						
指標式等	交流館・札天山資料館等の入館者数等						
区分	基準(H26)	H27	H28	H29	H30	目標	単位
目標値	1,609	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	人
実績値	1,609	1,908	1,680	1,153	1,283		人

2 施策の評価

評価項目	評価結果	評価の理由
成果 (期待する成果が得られたか)	4. 期待以上の成果が得られた 3. 一応の成果が得られた 2. あまり成果が得られなかった 1. 全く成果が得られなかった 3	自主的文化活動の支援を一定程度すること ができた。 質の高い芸術文化の鑑賞の機会を提供でき た。 文化財資料及び展示保存施設の整理・整備 を進めることができた。

3 施策に対する課題

- ・文化活動の多様化と文化協会の会員数が減少していることから支援の方法を検討する必要がある。
- ・文化財の保護活用と郷土資料の整理・整備を進める必要がある。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	福祉・医療環境コーディネート事業	担当課	保健福祉課
施策	地域保健福祉	推進施策	地域保健福祉の充実
		総合戦略施策項目	

事業の目的

福祉・医療サービスの質の維持向上に向け、人材の継続的な確保を図り、町内施設の魅力向上を図る。また、従事者の移住定住促進を図る。

事業の概要

人材の確保を行うため、ホームページの更新及び各種説明会等への出展を行う。
なお、平成30年度は各福祉・医療施設の予算により当該施設担当職員が人材確保に係る取組を行っており、保健福祉課は主にホームページの管理を実施。

平成30年度実施内容

- ・福祉人材募集窓口構築：エントリー用HP開設運営、マッチング出展（民間企業、大学等主催）

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	3,162	285	課題		
財源内訳				高齢化の進行により、福祉・医療サービスに求められる質・量ともに高まっているが、人材が都市部（周辺含む）に集中する傾向があり、「下川で働きたい」層をターゲットとするなど、人材確保に向けた検討が必要である。	
国道支出金	3,033	135			
地方債					
その他					
一般財源	129	150	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	戦没者追悼式	担当課	保健福祉課
施策	地域保健福祉	推進施策	地域保健福祉の充実
		総合戦略施策項目	

事業の目的

戦争で失われた尊い人命を尊び、平和で民主的な住民自治の維持の献奏と式典を行う。

事業の概要

戦争の犠牲になった方達を尊び、戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝える。
献奏及び追悼式典の開催。

平成30年度実施内容

公民館で式典及び役場庁舎前で献奏開催。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	500	466	課題		
財源内訳				戦没者遺族の高齢化や減少、献奏者の実情を踏まえ、式典の開催方法や献奏の実施について、遺族会と協議をしつつ見直しを検討する。	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	500	466	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	20歳からの生活習慣病予防事業	担当課	保健福祉課
施策	健康づくり・医療	推進施策	生活習慣病対策の充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

若い年代からの健康意識を高め、健全な生活習慣が確立されることを通じて、生活習慣病の予防や重症化予防により、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸を図る。

事業の概要

生活習慣病予防を具体的に実施するため、健診を入り口に、健診結果からわかる体の状態を個々に読み取り、事後の保健指導を重点に実施している。

平成30年度実施内容

- ・ハピネス健診（20～39歳）、内臓脂肪CT検診（20歳～）、肝炎ウイルス検診、後期高齢者健診集団と個別を設定。下川の健康実態に合わせ、健診の検査項目に心電図やクレアチニン（腎機能）などの項目を追加している
- ・健診事後指導　・特定保健指導受託　・健康相談、家庭訪問、健康教育

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた			
決算額	2,898	5,682	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	149 556 322 2,427	556 330 4,796	重症高血圧の割合等健診結果は改善傾向であり成果がでている。メタボや喫煙者が多いことが課題。生活習慣病は自覚症状が出にくく、健診結果を元に生活習慣の改善を行うため、未受診者対策が優先課題。来年度よりハピネス健診は満18歳から対象とする。			
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	がん検診事業	担当課	保健福祉課
施策	健康づくり・医療	推進施策	生活習慣病対策の充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

検診を受診することで、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がんの早期発見や早期治療に結びつき、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸を図る。

事業の概要

対策型検診であるがん検診や喫煙率の高いという健康課題からCT肺がん検診も実施している。

平成30年度実施内容

- ・受けやすい体制作り：集団検診土日設定、個別検診設定、検診料金補助、子宮・乳がん毎年受診可能
- ・乳・子宮がん検診無料クーポン券の各対象者へ、クーポン券と検診手帳を配布（国事業により）
- ・乳・子宮がん検診で国事業クーポン対象年齢のうちクーポン対象外となる方及び胃・肺・大腸・乳・子宮がん検診の対象初年度の人と大腸がん検診41・46・51・56・61歳の人に町の無料券を配布
- ・検診未受診者への受診勧奨（クーポン対象者を重点的に実施）　・精密検査未受診者への受診勧奨

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた			
決算額	6,287	5,723	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	27 4,700 1,193 5,067	26 915 82	国民の2人に1人が一生のうちにがんに罹り、北海道では依然として死因の第1位を占めている。年々受診率が減少している。受診率による評価は、治療中者や職域等との調整も課題と思われる。			
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	国民健康保険	担当課	保健福祉課
施策	健康づくり・医療	推進施策	医療保険と医療費助成の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的

国民健康保険加入者の社会保障及び保健事業の実施により、健康の保持増進を目的とする。

事業の概要

平成30年度からの制度改正に伴い、道が安定的な財政運営(市町村ごとに被保険者数・所得・医療費水準等によって算定される納付金制度の導入)や事務の標準化(資格管理等システム稼働)を推進し、市町村は、保険税賦課徴収、資格管理、保険給付、保健事業等を引き続き行っている。

平成30年度実施内容

保険税賦課徴収、資格管理、保険給付、保健事業等

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた	
決算額	593,053	481,402	課題		
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	212,936 258,084 122,033	350,620 39,299 91,483	今後、保険税の平準化に向けて、保険税率の見直しが必要となる。	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	

事業名	後期高齢者医療制度	担当課	保健福祉課
施策	健康づくり・医療	推進施策	医療保険と医療費助成の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的

後期高齢者の社会保障及び保健の向上を目的とする。

事業の概要

道内市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市町村は保険料徴収や各種申請の受付等の窓口業務を行っている。

平成30年度実施内容

保険料徴収、各種申請受付等

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた	
決算額	58,427	62,566	課題		
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	22,570 35,857	24,880 37,686		
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	医療機器整備等事業	担当課	町立下川病院
施策	健康づくり・医療	推進施策	町立下川病院の充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

地域住民に安心して受診していただけるよう医療器機を整備し、より充実した医療を提供することにより地域医療の確保を図ることを目的とする。

事業の概要

- 老朽化している医療機器について、経営状況等を勘案しながら計画的な整備を進めている。

平成30年度実施内容

・コンパクト視力計	181,116円	・移動型X線撮影装置	8,370,000円
・オージオメータ	428,760円	・歩行補助器	49,000円
・電動リモートコントロールベッド	1,159,920円	・収納付調理台	68,040円
・車いす移動車	2,015,458円		

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた			
決算額	115,362	19,929	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	49,990 57,400 4,309 3,663	2,502 8,782 8,645	・今後、老朽化している医療機器の更新については、経営状況を勘案しながら進めていく。			
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	町立下川病院事業	担当課	町立下川病院
施策	健康づくり・医療	推進施策	町立下川病院の充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

町内唯一の医療機関として、安心して暮らせる医療体制の充実を図り、医療を通じて町民福祉の増進に貢献していく。

事業の概要

町内唯一の病床を持つ医療機関として、安心して医療を受けることができるよう固定医師の確保や看護スタッフの確保、診療体制の確立等患者サービスの向上に努めており、また、地域包括ケアの観点からも住み慣れた地域で安心して医療が受けられるよう訪問看護や訪問診療にも取り組んでいる。

平成30年度実施内容

- 入院患者数 7,431人（平均病床利用率48.9%）
- 外来患者数16,582人（夜間診療：第2、第4木曜日、外科診療は週3日）
- 訪問看護（延人数16人、延回数516回）、訪問診療（延人11人、延回数85回）

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた			
決算額	533,632	551,744	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	2,940 268,804 280,000	町内唯一の病床を持つ医療機関であり、救急指定病院でもあることから、地域の医療機関のセンター病院である名寄市立総合病院との連携により機能、役割分担を図りながら患者サービスの向上に努めている。				
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	高齢者通院交通費助成事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的																																			
早期治療の促進による健康の保持と経済的支援のため、下川町内の医療機関への通院に要した高齢者の交通費の一部を助成する。																																			
事業の概要																																			
医療機関から遠隔地に居住する70歳以上の高齢者に対して、医療を受けるための通院に要した交通費の一部（営業バス運賃の1/2相当額）を助成する。																																			
平成30年度実施内容																																			
利用実績なし。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">決算額(単位：千円)</th> <th colspan="2">事務事業の評価</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>評価結果</th> <th>D. 全く成果が得られなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>課題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財 源 内 訳 國道支出金</td> <td></td> <td></td> <td>高齢者が安心して医療を受けることができる環境を維持していく必要性を考慮しつつも、利用目的が町内の医療機関に受診する場合に限られ、また利便性から他の交通手段を活用する場合もあることから利用実績がなく、令和2年度廃止を前提にした検討が必要。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td></td> <td>今後の方向性</td> <td><input type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input checked="" type="checkbox"/>廃止・休止</td> </tr> </tbody> </table>	決算額(単位：千円)			事務事業の評価		年度	29年度	30年度	評価結果	D. 全く成果が得られなかった	決算額	0	0	課題		財 源 内 訳 國道支出金			高齢者が安心して医療を受けることができる環境を維持していく必要性を考慮しつつも、利用目的が町内の医療機関に受診する場合に限られ、また利便性から他の交通手段を活用する場合もあることから利用実績がなく、令和2年度廃止を前提にした検討が必要。		地方債					その他					一般財源			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止
決算額(単位：千円)			事務事業の評価																																
年度	29年度	30年度	評価結果	D. 全く成果が得られなかった																															
決算額	0	0	課題																																
財 源 内 訳 國道支出金			高齢者が安心して医療を受けることができる環境を維持していく必要性を考慮しつつも、利用目的が町内の医療機関に受診する場合に限られ、また利便性から他の交通手段を活用する場合もあることから利用実績がなく、令和2年度廃止を前提にした検討が必要。																																
地方債																																			
その他																																			
一般財源			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止																															

事業名	高齢者入湯料・入湯交通費助成事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的																																			
健康の保持又は療養のため、下川町五味温泉交流促進施設等を利用する高齢者等に対する入館料及び入湯料の一部と、利用した際の交通費の一部を助成する。																																			
事業の概要																																			
高齢者等に対して、五味温泉等を利用する際の入館料及び入湯料の一部（利用券：300円/回）の助成と、利用した際の交通費の一部（町営バス班渓線に乗車するために要した営業バス運賃の1/2相当額）を助成する。																																			
平成30年度実施内容																																			
平成30年度利用実績は、発券をした利用者数が364人（うち高齢者351人、心身障がい者13人）で、対前年比8.3%の減少。発券枚数は17,980枚で対前年比8.6%の減少。 入湯交通費の利用実績は1人。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">決算額(単位：千円)</th> <th colspan="2">事務事業の評価</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>評価結果</th> <th>B. 一応の成果が得られた</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>3,628</td> <td>3,399</td> <td>課題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財 源 内 訳 國道支出金</td> <td></td> <td></td> <td>利用対象者にとっては入湯施設を利用することで健康の保持及び療養になるものであるが、今後の利用者状況の推移を見ながら事業内容について検討する。また、入湯交通費については利用実績が近年1人程度であることから、状況を踏まえ廃止の検討が必要。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>2,600</td> <td>2,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>958</td> <td>958</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>70</td> <td>41</td> <td>今後の方向性</td> <td><input type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input checked="" type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止・休止</td> </tr> </tbody> </table>	決算額(単位：千円)			事務事業の評価		年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	決算額	3,628	3,399	課題		財 源 内 訳 國道支出金			利用対象者にとっては入湯施設を利用することで健康の保持及び療養になるものであるが、今後の利用者状況の推移を見ながら事業内容について検討する。また、入湯交通費については利用実績が近年1人程度であることから、状況を踏まえ廃止の検討が必要。		地方債	2,600	2,400			その他	958	958			一般財源	70	41	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
決算額(単位：千円)			事務事業の評価																																
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた																															
決算額	3,628	3,399	課題																																
財 源 内 訳 國道支出金			利用対象者にとっては入湯施設を利用することで健康の保持及び療養になるものであるが、今後の利用者状況の推移を見ながら事業内容について検討する。また、入湯交通費については利用実績が近年1人程度であることから、状況を踏まえ廃止の検討が必要。																																
地方債	2,600	2,400																																	
その他	958	958																																	
一般財源	70	41	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止																															

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	家族同乗移送サービス事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進 総合戦略施策項目

事業の目的

■医療機関に受診する際の移送支援を行い、高齢者及び障がい者を在宅で介護する家族の移動負担の軽減を図る。

事業の概要

■介護する家族が医師から診療内容の説明等により同席を求められたときや、本人の体調不良等により介護する家族の同席が必要と認められたときに移送車両に家族が同乗して受診する。

平成30年度実施内容

■対象者は、外出支援サービス及び移動支援サービスの利用者及び利用者の家族。名寄市内の医療機関に限る。下川ハイヤーに委託し、利用者負担は、往復3,000円、片道1,500円。
H30年度利用実績は、往復延べ18回、片道延べ1回

決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額		111	課題	
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源			・介護者の高齢化もあり、介護する家族の負担軽減を図れた。
		111	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運用 総合戦略施策項目

事業の目的

■要支援・要介護状態になることの予防や重症化を防ぎ、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援することで、生活機能の維持が図られる。

事業の概要

■介護予防サービス・生活支援サービス等を介護予防マネジメントにより実施したり、一般介護予防事業を通じて高齢者の主体的な地域介護予防活動への参加を促すことで、高齢者の介護予防の推進を図る。

平成30年度実施内容

■介護予防・生活支援サービスとして、訪問型サービス、通所型サービス、配食サービス、訪問サービス等を実施。

■一般介護予防事業として、介護予防把握事業、普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業を実施。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた
決算額	14,620	13,402	課題	
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	4,130 4,125 6,365	6,396 4,117 2,889	・要支援や要介護状態を予防したり重症化を防ぐためには、生活習慣病の重症化予防や継続した疾病管理も含めた介護予防の取り組みが必要。
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	包括的支援事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運用 総合戦略施策項目

事業の目的

■地域における支えあいネットワークを構築し、地域での連携や協力体制づくりをすることで、適切な社会資源や支援へと繋ぎ、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続できる。

事業の概要

■高齢者が安心して自分らしい在宅生活が継続できるよう、高齢者の様々な相談に対する総合相談支援や生活支援体制整備等の包括的支援事業を実施する。

平成30年度実施内容

■支援コーディネーターによる担い手育成や交流の場の企画。認知症サポーター養成講座の開催。安心支えあいネットワークの推進。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価			
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた		
決算額	19,745	24,287	課題			
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	2,551 5,948 17,194	18,339	支援コーディネーターとの連携や認知症支援に関わる人材等の体制整備を行い、地域での支えあいが広がるよう取り組む必要がある。		
				今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	

事業名	在宅医療介護連携・認知症対策事業	担当課	保健福祉課
施策	高齢者支援	推進施策	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運用 総合戦略施策項目

事業の目的

■高齢者が在宅生活を継続するまでの課題を関係者が共有し連携体制を構築することで、医療や介護が必要になっても安心して在宅生活が継続できる。

事業の概要

■医療と介護の両方を必要とする高齢者が在宅で自分らしい生活が継続できるよう、在宅医療や保健・福祉・介護等の関係者と連携して、包括的・継続的に高齢者を支援できる体制を構築する。

平成30年度実施内容

■アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発
アンケート調査と広報掲載、サロンでの講話。

■看取り指針作成
ワーキングチームを立ち上げ、看取り期における各職種の役割や対応手順、ツールを作成。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価			
年度	29年度	30年度	評価結果	A. 期待以上の成果が得られた		
決算額	193	44	課題			
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源			平成28年度から新規事業として実施してきたが、本来は包括的支援事業に含まれる事業。事業が軌道に乗り、成果を上げることができたため、平成31年度（令和元年度）からは包括的支援事業に組み込み実施していく。		
				今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	地域福祉活性化事業（ふれあい広場）	担当課	あけぼの園
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的

地域の人たちが世代や障がいを越えて共に手を携え希望を語り合う、ふれあいの町づくりを目指すことを目的にしています。

事業の概要

町と社協との共催で、様々な福祉団体等の協力の下、地域交流イベントとして実施しています。

平成30年度実施内容

打上花火、アイスキャンドル＆ペットボトルキャンドル点灯、グリーンコンサート、ふれあい芸能発表、よさこい踊り、フラダンス、クラリネットアンサンブル、阿波踊り、よさこいソーラン、下川商業高校パフォーマンス、遊びのコーナー、健康チェックと相談等、飲食売店出店等を実施しました。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた			
決算額	305	236	課題				
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源			福祉を基盤とした地域の福祉コミュニティイベントとして実施してきましたが、開催場所を含め総合的に開催方法の見直しが必要である。			
	305	236	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	食の自立支援事業	担当課	あけぼの園
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進
総合戦略施策項目			

事業の目的

生活支援ハウス入居者のうち、調理が困難な方に対し、健康で自立した生活を送ることができるよう食事の提供を行います。

事業の概要

入居者のニーズに合わせたサービスを提供しています。

平成30年度実施内容

入居者への年間提供食数:9,454食
実利用者数:11名

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B.一応の成果が得られた			
決算額	5,666	6,341	課題				
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源			食費等の見直し検討が課題であり、利用者に十分説明し、理解を得た上で進めます。			
	4,503	5,034	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
	1,163	1,307					

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	あけぼの園（介護老人福祉施設）	担当課	あけぼの園
施策	高齢者支援	推進施策	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運用
		総合戦略施策項目	高齢者向け快適居住空間の創出による豊かな暮らしづくり

事業の目的

老人福祉法及び介護保険法に基づき、身体上又は精神上著しい障害のため、在宅での生活が困難な常時介護を必要とする要介護高齢者に対し、日常生活上必要なサービスを提供することを目的とする。

事業の概要

老人福祉法及び介護保険法を遵守し、要介護入所者（定員56人、短期入所定員9人）に対し、食事・入浴・排泄の3大介護サービスを基本に、生活相談・機能訓練・健康管理等必要なサービスを提供し、安全で安心できる生活を確保できるよう援助を行う。

平成30年度実施内容

常時介護を必要とする入所者への食事・入浴・排泄等の基本 A D L 動作介助や相談援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活上の世話・機能訓練・健康管理等を行っている。また、余暇活用として年3回外出行事の実施や敬老会等の家族参加行事、毎月音楽療法の実施等をすすめ、サービス内容の充実に努めている。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた			
決算額	232,798	249,230	課題				
財源内訳 国道支出金			入所者平均要介護度は4を超える状況であるが、介護職員の慢性的な人員不足が続いていることから、入所制限を必要とする状況にあり、充分なケア体制を継続できる人材の育成確保が課題である。				
地方債							
その他	48,822	77,160					
一般財源	183,976	172,070	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	短期入所生活介護	担当課	あけぼの園
施策	高齢者支援	推進施策	高齢者福祉サービスと社会参加の推進
		総合戦略施策項目	高齢者向け快適居住空間の創出による豊かな暮らしづくり

事業の目的

在宅要介護等高齢者の介護者が、外出不在の際や病気休養等の際に、本人並びに家族が安心して生活できることを目的とする。

事業の概要

在宅要介護者等の介護者が、冠婚葬祭や旅行等での外出の際や、病気療養、介護負担軽減を必要とする場合に、短期的に施設を利用（定員9人）し、日常生活上必要となる介護サービスを提供する。

平成30年度実施内容

利用希望に応じて在宅要介護高齢者の短期間入所受入れを行い、食事・入浴・排泄等の基本 A D L 動作介助や、他の日常生活上の世話及び機能訓練等のサービスを行っている。時期による利用希望のばらつきや、介護職員の不足による受入れ調整等があるが、担当介護支援専門員と連携しながら対応をすすめている。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた			
決算額	17,681	14,878	課題				
財源内訳 国道支出金			介護職員の不足による受入れ調整等が生じているが、在宅介護力の低下等から中長期的利用ニーズが増加傾向にあり、担当介護支援専門員等との密な連携の継続対応等が課題である。				
地方債							
その他	1,988	3,605					
一般財源	15,693	11,273	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	通所介護サービス事業	担当課	あけぼの園
施策	高齢者支援	推進施策	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運用 総合戦略施策項目

事業の目的

在宅の要介護者に対し、通所による日帰りの送迎・入浴・食事・排泄等各種介護サービスの提供を行い、自立生活支援や心身機能の維持向上と共に家族の介護負担軽減を図っています。

事業の概要

登録者数82名。その内要介護者1～5（通所介護）は、44名で約全体の5割を占めます。（それ以外の利用者の内訳は一次予防者・事業対象者・要支援1、2）町内全域から利用され、利用頻度は基本週1回が基本だが、2回、3回、5回と利用されている利用者もいます。

平成30年度実施内容

要介護者1～5までの利用者への送迎・入浴・食事・排泄等の日帰り介護サービスを提供し、年間約1,800名が利用しました。（平成29年度1,742名）

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた			
決算額	30,424	31,777	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	8,870 21,554	人口減や要介護者の減、グループホーム等施設に入所する利用者が増加しています。各居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと新規利用者の確保も含め、利用者の適正な確保に努めていますが、現状維持の状況です。 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
		10,424 21,353					

事業名	保育事業	担当課	保健福祉課
施策	子育て支援	推進施策	保健・子育て支援サービスの充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

将来を担う子どもたちの健やかな成長と保育の機会均等及び子育て支援の充実を図るため、幼児センターに入所する就学前の児童に対して保育を行うほか、家庭への支援も行う。

事業の概要

幼児センター運営及び地域子供・子育て支援事業等の実施。

平成30年度実施内容

美桑ヶ丘の自然の中で五感を通して色々なことを感じとる「森のあそび」を中心として、地域間交流、世代間交流、食育を行なながら一般保育を実施。その他、一時保育、子育て支援センターなどの事業を実施。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価				
年度	29年度	30年度	評価結果				
決算額	26,453	28,331	課題				
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	3,288 11,414 11,751	待機児童はいないが、特に3歳未満児の定員を超える入所希望者が今後発生することが想定される。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
		2,887 12,333 13,111					

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	山びこ学園運営事業	担当課	山びこ学園
施策	障害者支援	推進施策 総合戦略施策項目	「山びこ学園」及びグループホーム「ういる」の充実

事業の目的

- ・知的障がい者の社会的自立を目的とし日常生活等の支援を行う。※施設利用者：定員50名（施設入所者）

事業の概要

・昭和61年4月に知的障害者更生施設「山びこ学園」として定員30名で開設し、平成2年度に増床し定員50名で運営。平成24年度から名称を下川町立障害者支援施設「山びこ学園」として、生活介護サービス事業及び施設入所支援サービス事業の2事業を障害者総合支援法に基づき運営している。

平成30年度実施内容

- ・障がい者の社会的自立を目的とした日常生活等の支援を実施。（H30年度末入所者：46名）
- ・障害者総合支援法による利用形態に対応した日中活動の支援を実施。
- ・利用者への生活支援体制の推進として、心身の健康面や衛生面等の支援と健康診断等の実施。
- ・施設と家族の情報共有として、利用者家族との情報交換や各種事業開催及び研修会等の実施。

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	84,380	85,522	課題		
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	9,000 0 27,509 47,871	10,172 0 26,779 48,571	・利用者の高齢化及び重度重複障がいへの対応 ・効果的な施設運営の推進 ・施設、設備の老朽化の伴う計画的な改修及び更新	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	「山びこ学園」施設及び設備並びに周辺整備事業	担当課	山びこ学園
施策	障害者支援	推進施策 総合戦略施策項目	「山びこ学園」及びグループホーム「ういる」の充実

事業の目的

- ・山びこ学園利用者の生活環境改善を図るための施設改修

事業の概要

- ・平成21年度から年次計画に基づき、経年劣化により老朽化した施設及び設備等の改修及び更新を実施

平成30年度実施内容

- ・利用者の安全確保のため施設内一部に手摺り設置工事
(女子D棟：廊下、トイレ、居室出入口、女子棟ホールからデイルームまでの廊下)
- ・厨房設備の一部更新（調理台）

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	497	1,440	課題		
財 源 内 訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	0 0 0 497	0 0 0 1,440	・開設から33年が経過し、老朽化した施設の改修 ・施設利用者の障がいの重度化と高齢化に対応した施設改修	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	グループホーム「ういる」運営事業	担当課	山びこ学園
施策	障害者支援	推進施策 総合戦略施策項目	「山びこ学園」及びグループホーム「ういる」の充実

事業の目的

- ・障がい者の地域生活移行を目的として、生活基盤確保のための就労支援・日常生活援助を行う。
※施設入居者：定員5名

事業の概要

- ・平成14年12月知的障害者グループホーム「ういる」として定員5名により開設し、平成18年10月より、障害者グループホーム「ういる」に法律改正により名称の変更を行っている。（グループホームとケアホーム一体型へ移行）

平成30年度実施内容

- ・障がい者の地域生活移行に向けた支援を実施。（現在5名が利用）

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	6,494	6,833	課題		
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	5,619 0 875 0	5,968 0 865 0	・入居者の所得向上等の生活基盤の安定と生活領域の拡大が重要であり、より一層の就労支援等内容の充実を図る必要がある。	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	学校施設等管理事業	担当課	教育課
施策	学校教育	推進施策	小中学校教育の充実
総合戦略施策項目			

事業の目的

- 小学校は、学校教育法第29条に基づき、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。
- 中学校は、学校教育法第45条に基づき、小学校における教育基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。

事業の概要

■小学校は、明治37年に上名寄簡易教育所が上名寄19線に建てられ、その後、明治40年に下川簡易教育所を現在の位置に建設。現在の建物は、珊瑚・渓和・二の橋・開成小学校の下川小学校への統合を機に、昭和46年・47年の2か年で建設した。その後、平成4年から6年にかけて大規模改修、平成22年に校舎、体育館の耐震補強工事を行った。
■昭和22年に中学校が配置され、一の橋・菱光・上名寄の下川中学校への統合を機に、昭和53年に改築した。その後、平成11年・12年の2か年で校舎の大規模改修工事を行い、平成22年に体育館の耐震補強工事を実施した。

平成30年度実施内容

小学校 校舎及び体育館の蛍光管等をLEDに交換(月額リース料 69,202円×10年)、電話装置一式修繕(1,023千円)、排水ポンプ修繕(200千円)

中学校 校舎及び体育館の蛍光管等をLEDに交換、体育館ボイラーを遠赤外線暖房機に交換(256,845円×10年)、校舎時計移設修繕(326千円)

決算額(単位：千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	60,466	48,609	課題		
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源			今後においても、児童生徒の教育環境や安全性の確保のため必要に応じ改修等の実施が必要である。	
			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	学校給食運営事業	担当課	教育課
施策	学校教育	推進施策	小中学校教育の充実
		総合戦略施策項目	

事業の目的			
児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるとともに、健全な発達・成長に寄与することを目的とする。			
事業の概要			
学校における食育の生きた教材となる学校給食の充実を図るため、地場産物の活用や米飯給食の充実を推進し、安全・安心な給食を提供している。			
平成30年度実施内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校給食の提供 小学校200日、中学校198日実施(米飯給食週4日、麺類週1日) ・学校給食を活用した、食に関する指導の実施 ・給食用牛乳補助及び給食費補助(3,340千円) ・ボイラーの更新(月額リース料 74,103円 10年)、休憩室天井及び外壁修繕(1,918千円) 			
決算額(単位:千円)		事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果
決算額	20,591	18,401	B. 一応の成果が得られた 課題
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	2,500 2,200 18,091 16,201	老朽化した設備については計画的な更新を実施していく。 ※蒸気消毒保管庫(H31)、食器洗浄機(H31)、ステンレスガス回転釜(H32)、ステンレス蒸気回転釜(H32)、保冷庫更新(H32)。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	青少年育成支援事業	担当課	教育委員会
施策	生涯学習・スポーツ	推進施策	生涯学習の振興
		総合戦略施策項目	
事業の目的			
将来を担う青少年に対し、新進ともに成長発達に大切な各種研修事業等を展開し、育成支援を図る。			
事業の概要			
青少年芸術劇場の開催(小学校・中学校) スポーツ少年団活動交付金、スポーツ・文化活動の活動支援 子ども会活動への交付金支援			
平成30年度実施内容			
青少年芸術劇場 小学校 わくわくジャズコンサート 129名 中学校 日本一のカスタネット奏者&仲間たち 107名 スポーツ・文化活動交付金の交付 (スポーツ23名、文化5名) 指導者等育成事業交付金の交付 (3名)			
決算額(単位:千円)		事務事業の評価	
年度	29年度	30年度	評価結果
決算額	7,345	11,811	A. 期待以上の成果が得られた 課題
財源内訳	国道支出金 地方債 その他 一般財源	7,345 11,811	少年団活動等の指導者の確保が課題である。 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A. 期待以上の成果が得られた」「B. 一応の成果が得られた」「C. あまり成果が得られなかった」「D. 全く成果が得られなかった」の4分類で評価。

平成30年度「事務事業」評価調書

事業名	スポーツ推進事業	担当課	教育委員会教育課
施策	生涯学習・スポーツ	推進施策	生涯スポーツの振興
		総合戦略施策項目	教育環境の充実

事業の目的

・健康の保持増進に資するため、生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かな「スポーツライフ」を送るため、各種教室の開催や各種競技大会の運営と支援を行う。

事業の概要

- ・幼少期からスポーツに触れる機会を設け、スポーツ振興を図るため、夏休みスイミング教室、冬休みスキー教室、水中歩行運動教室、アクアビクス、町民体力測定、もりさんぽ等々、健康増進と体力向上のための事業を開催。
- ・各種パークゴルフ大会、万里長城クロスカントリー大会、全道ノルディックスキー競技大会の開催運営
- ・下川ジャンプ少年団及び下川商業高等学校スキー部に対する小中高一貫指導の実施

平成30年度実施内容

上記事業の概要に記載のほか、今年度はクラウドファンディングを実施し、スキージャンプの用具購入等のため3,534千円の寄附金(返礼品や手数料等を除いた基金積立額は2,470千円)を集めた。また、指導用マイクロバスが老朽化していたことから備荒資金を活用し、5,898千円で更新した。

決算額(単位:千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	17,675	16,298	課題		
財源内訳					
国道支出金			・スポーツ少年団等が大会や研修等で利用しているマイクロバスの老朽化が激しく、修繕費がかさんでいる。乗車する利用者の安全確保のために更新または廃止の検討をしていく。		
地方債					
その他	938	4,251	・スポーツ協会への補助金(700千円)を精査しH31以降見直していく。		
一般財源	16,737	12,047	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持
				<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

事業名	文化協会補助金	担当課	教育委員会教育課
施策	芸術文化	推進施策	町民の芸術・文化振興
		総合戦略施策項目	

事業の目的

下川町の文化と伝統を継承しながら、下川町が目指す心豊かな地域社会としての芸術文化活動を促進する。また、下川町の公民館を中心とした町民の主体的な文化活動及び社会教育推進に沿った地域づくり・文化創造と生涯学習を推進する。

事業の概要

協会加盟団体の活動への助成・支援

町民文化祭等の実行委員会

文化協会賞の贈呈・道北文化集会等への参加

平成30年度実施内容

町民文化祭の実施(延べ2,272名)

上川管内道民芸術祭・第57回道北文化集会の開催(445名)

文化協会賞(林美智子氏・斎藤みゆき氏)、文化奨励賞(天近光子氏・石塚和子氏)への贈呈

決算額(単位:千円)			事務事業の評価		
年度	29年度	30年度	評価結果	B. 一応の成果が得られた	
決算額	520	1,020	課題	文化協会の会員数減少	
財源内訳					
国道支出金			会員の高齢化や固定化により、会員数および団体数が年々減少してきている。それに伴い、補助金額を段階的に縮小していく。		
地方債					
その他					
一般財源	520	1,020	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持
				<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止

※評価結果は、「A.期待以上の成果が得られた」「B.一応の成果が得られた」「C.あまり成果が得られなかった」「D.全く成果が得られなかった」の4分類で評価。